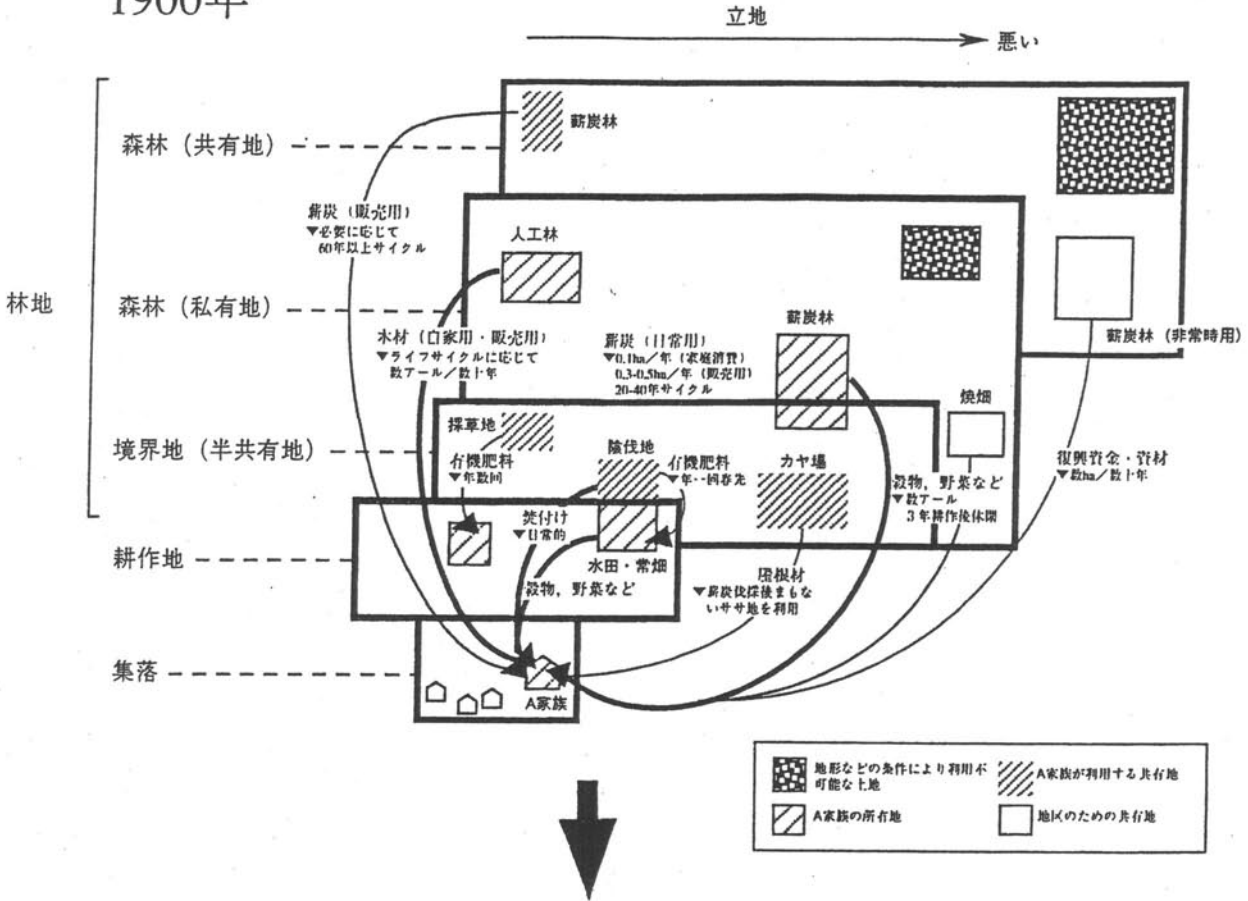


図 3

1900年



2000年

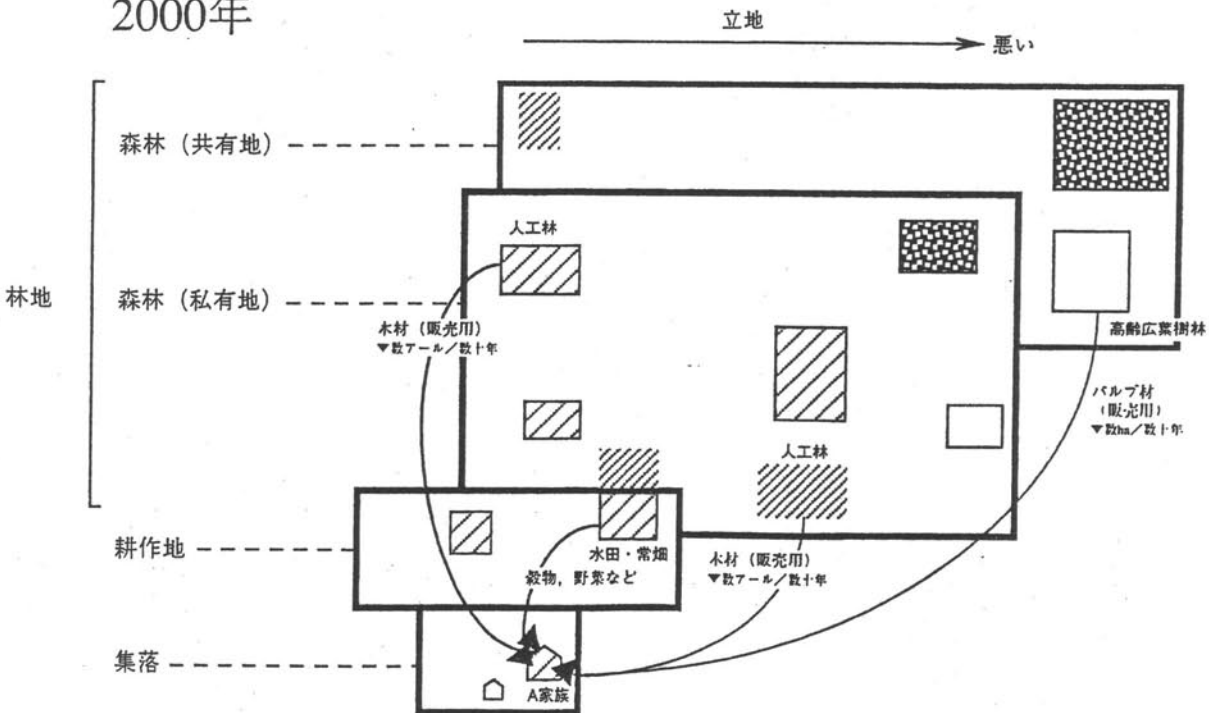


図 2. 上世屋・五十河地区における土地利用スキームの変化

図 4-A

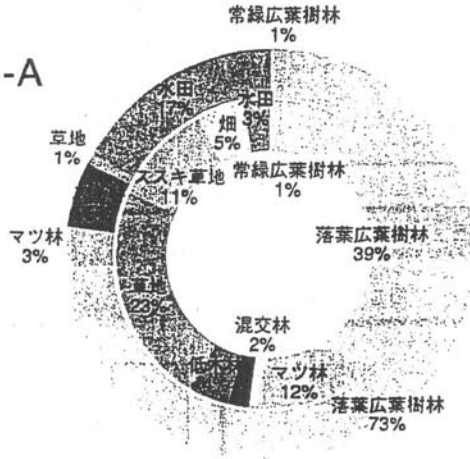


図2-41 大多喜における1880年代 (内側) と 1980年代 (外側) の相対優占度

図 5-A

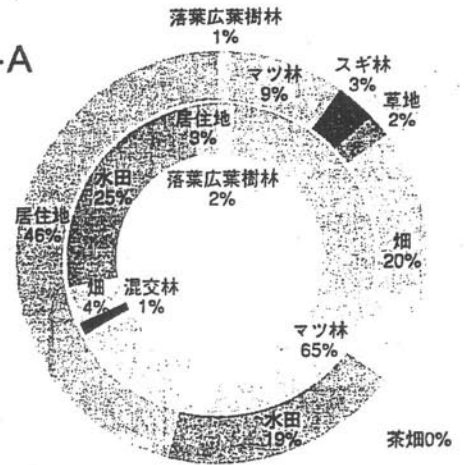


図2-48 千葉東における1880年代 (内側) と 1980年代 (外側) の優占植生

図 4-B

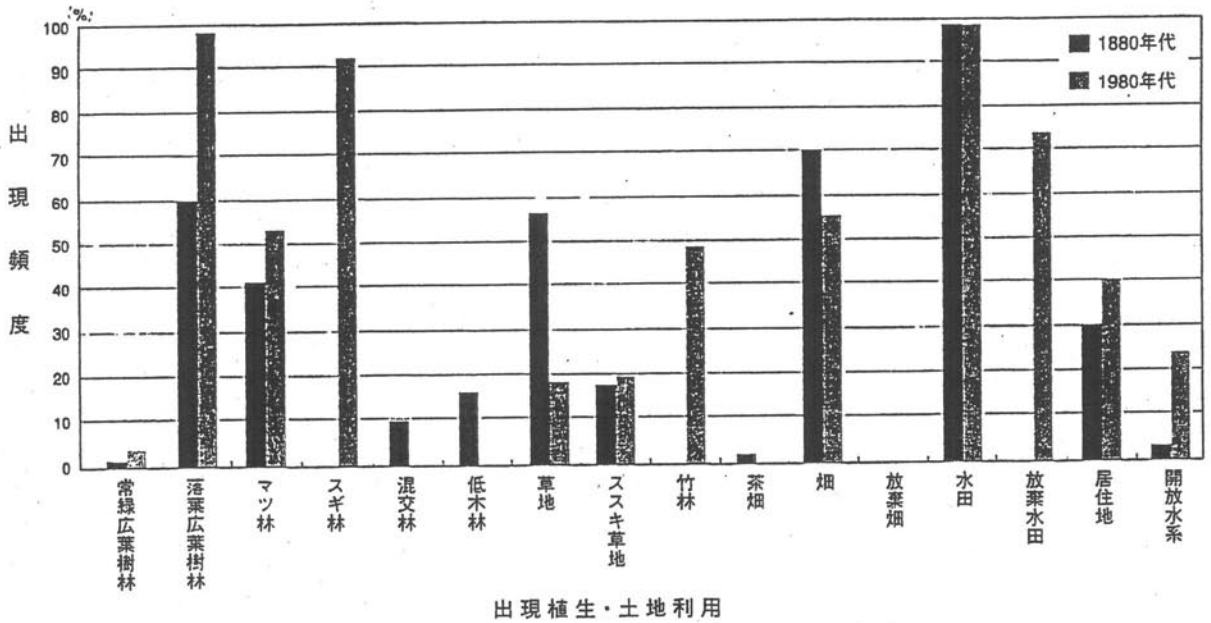


図2-42 大多喜における1880年代と1980年代の出現頻度

図 5-B

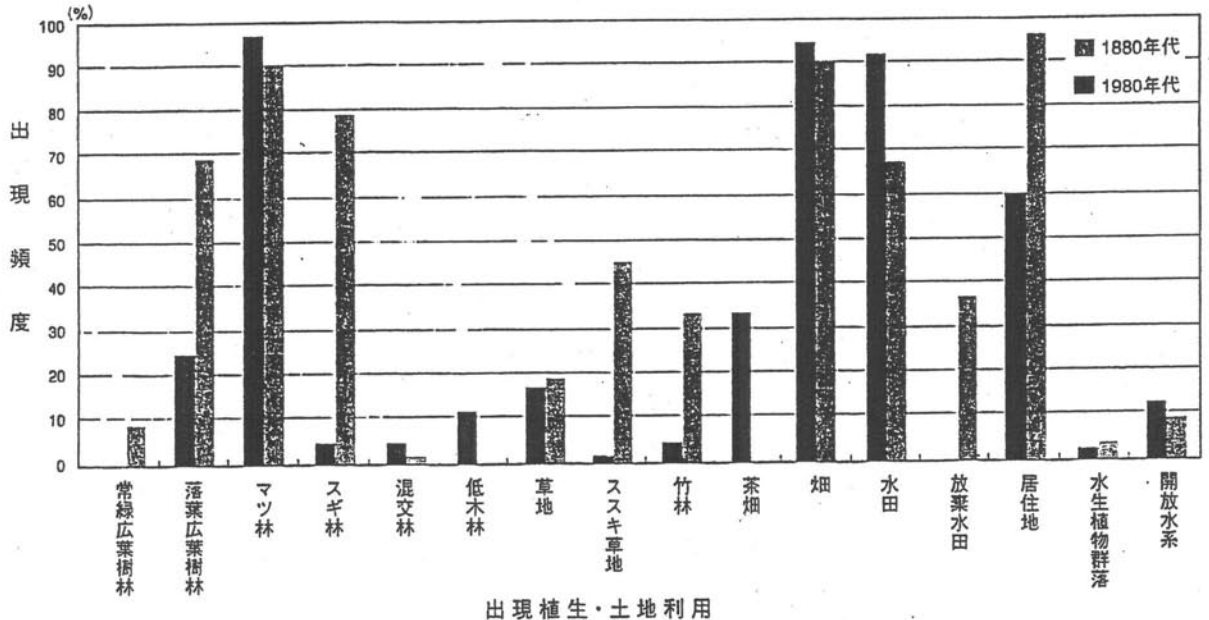


図2-49 千葉東における1880年代と1980年代の各植生の出現率

図 6

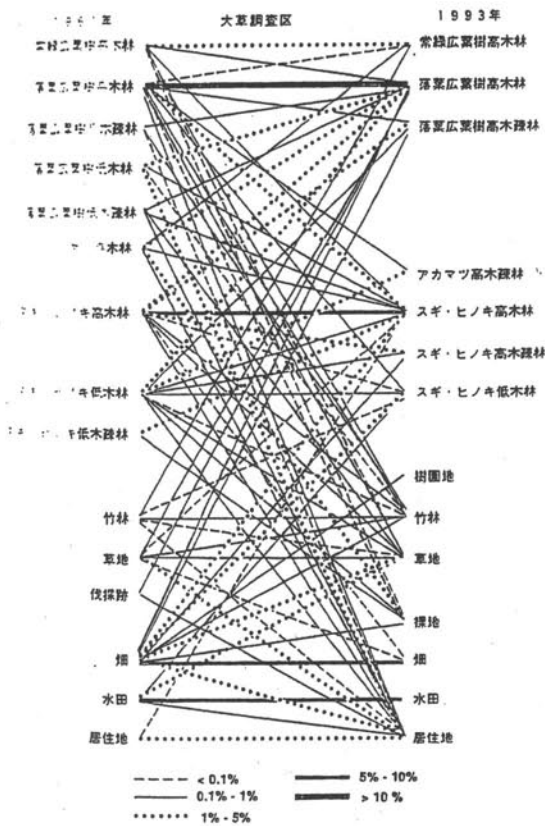


図 4 大草調査区の全面積に対するランドスケープタイプの変化の割合

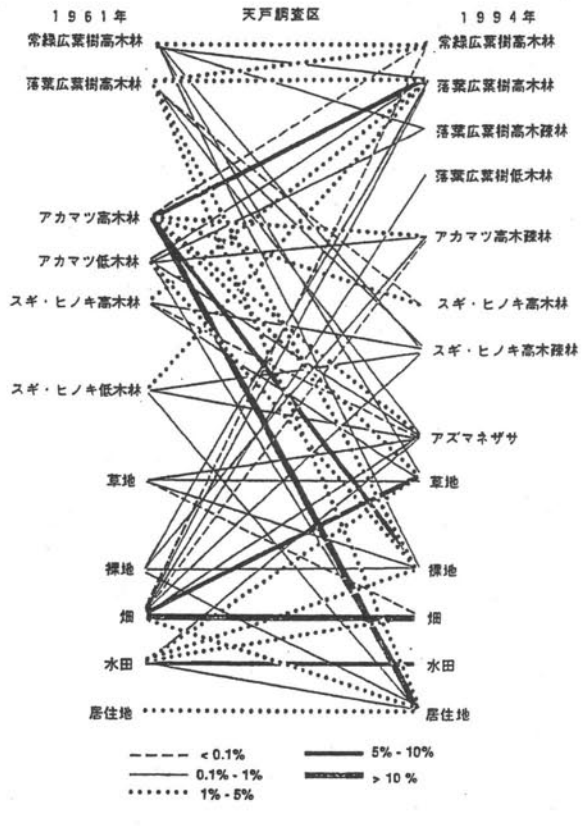


図 5 天戸調査区の全面積に対するランドスケープタイプの変化の割合

図 1 岡田光正ほか編. 環境保全・創出のための生態工学. 丸善株式会社, 東京.

図 2, 3 深町加津江. 2000. 里地における文化とその保全. 国際景観生態学会日本支部会報 5 : 83-88.

図 4, 5 藤原道郎. 2001. 近代までの植生と土地利用. 沼田眞・大沢雅彦編 千葉県自然誌 本編 5 千葉県の植物 2 植生. pp.55-72.

図 6 藤原道郎. 1997. 湾岸都市千葉市のランドスケープ 2 メソ・ミクروسケール. 沼田眞監修 湾岸都市千葉市の生態系と自然保護. pp.207-221.信山社サイテック.

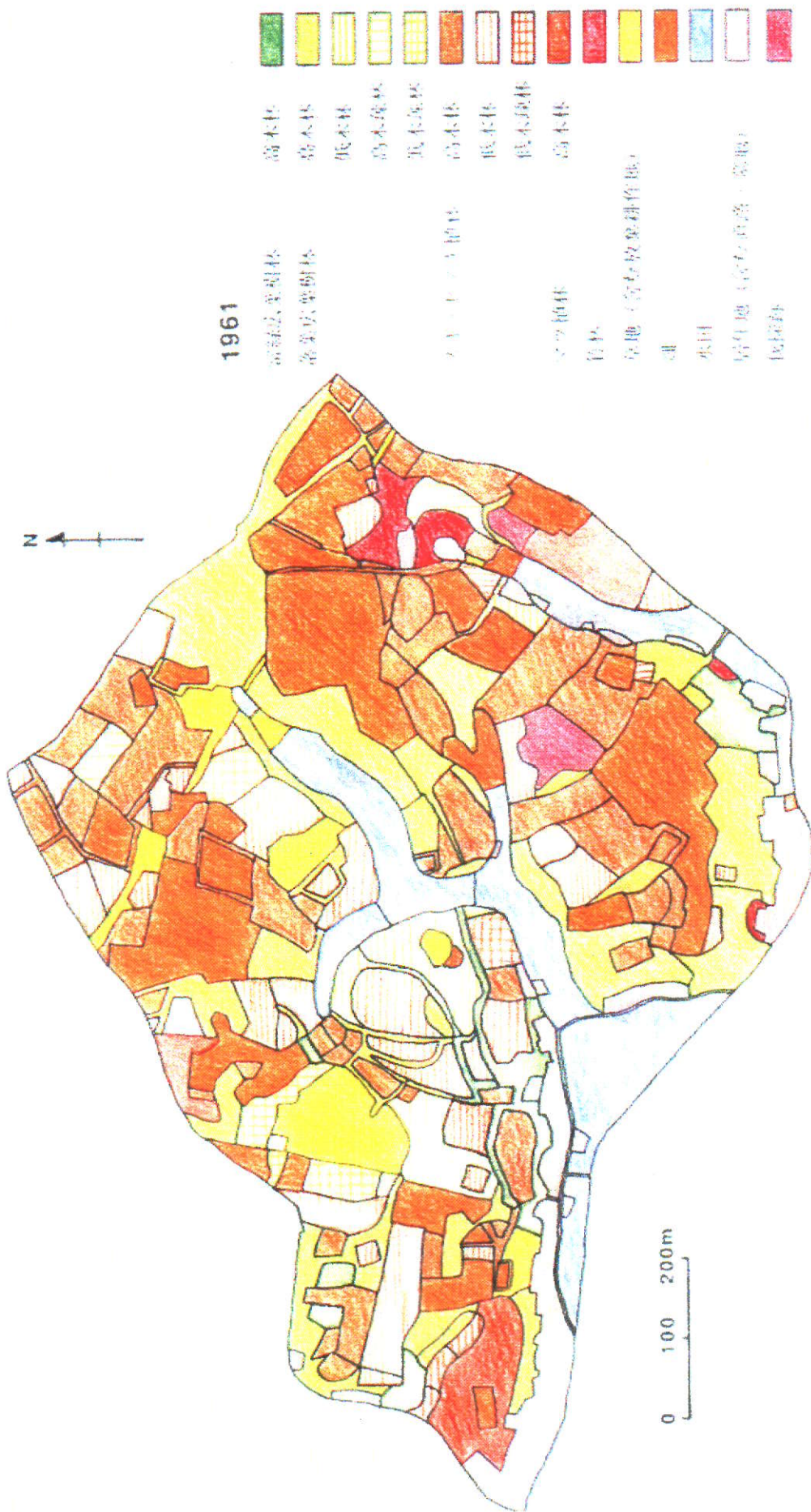


図1. 千葉市大草町の谷津の1961年における相観植生図。



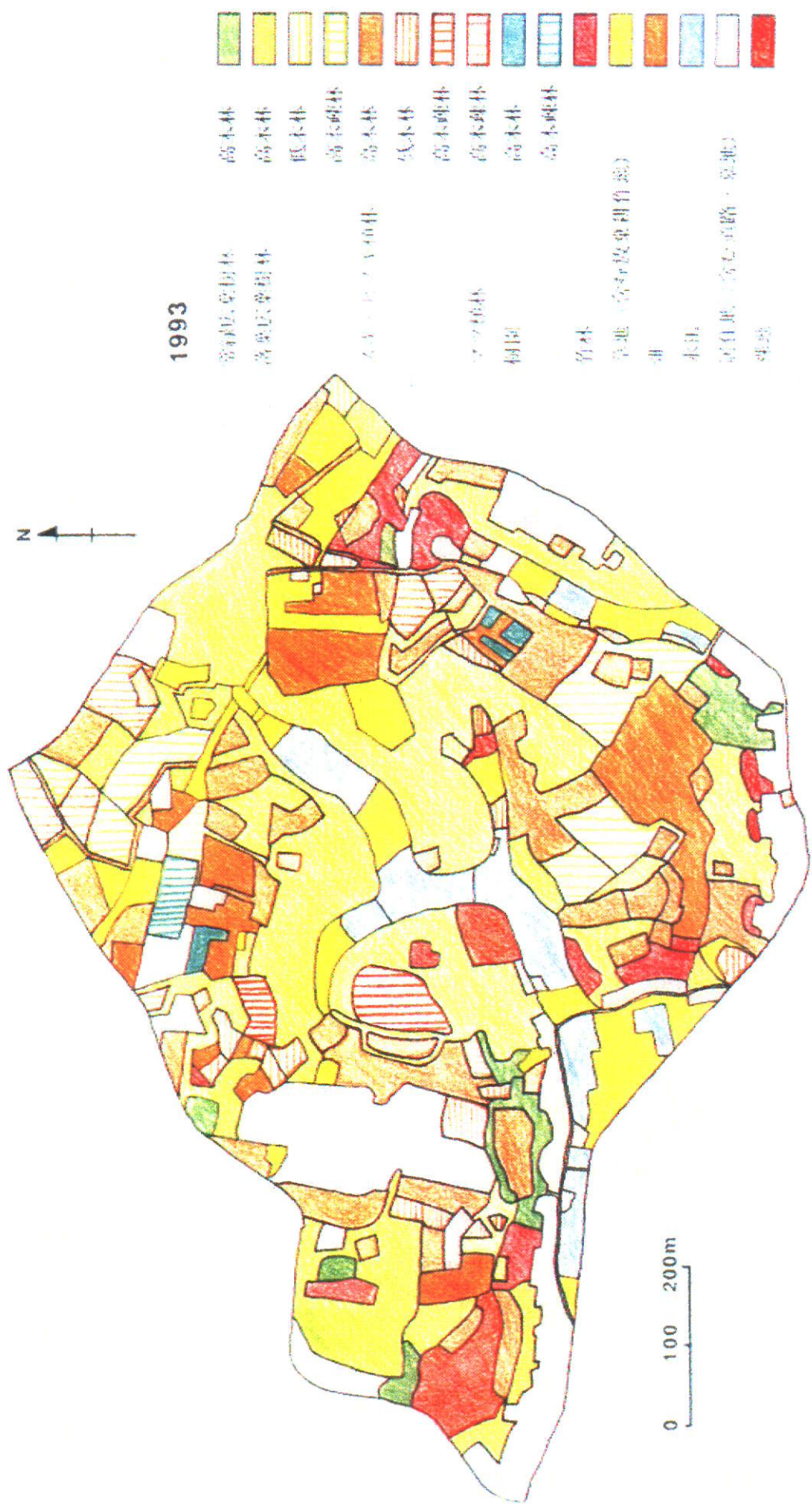


図2. 千葉市大草町の各津の1993年における相観植生図。